印西市
Inzai City

第2回総合教育会議

印西市における公民館の現状・課題と今後の方向性について

令和8年8月18日　印西市教育委員会　生涯学習部　生涯学習課　印西市立公民館

目次

1.現状

① 利用・参加の状況
② 学びと活動を支える取組
③ 職員・運営体制
④ 中央公民館の施設状況と移転検討

2 .課題

① 利用・参加
② 学び・つながり
③ 職員・運営体制の強化
④ 中央公民館の施設の在り方

3.今後の方向性

① 利用・参加の入口を広げる
② 学びの継続と、人とのつながりを支える
③ 各館の役割を生かし、５館を横断して支援する
④ 移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す

1.現状

① 利用・参加の状況
② 学びと活動を支える取組
③ 職員・運営体制
④ 中央公民館の施設状況と移転検討

2.課題

① 利用・参加
② 学び・つながり
③ 職員・運営体制の強化
④ 中央公民館の施設の在り方

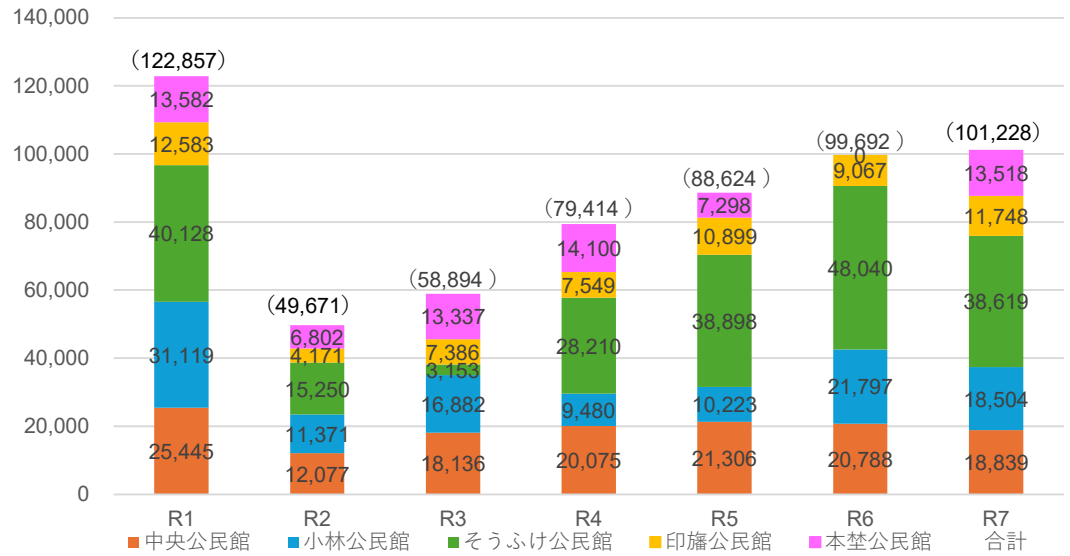
3.今後の方向性

① 利用・参加の入口を広げる
② 学びの継続と、人とのつながりを支える
③ 各館の役割を生かし、５館を横断して支援する
④ 移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す

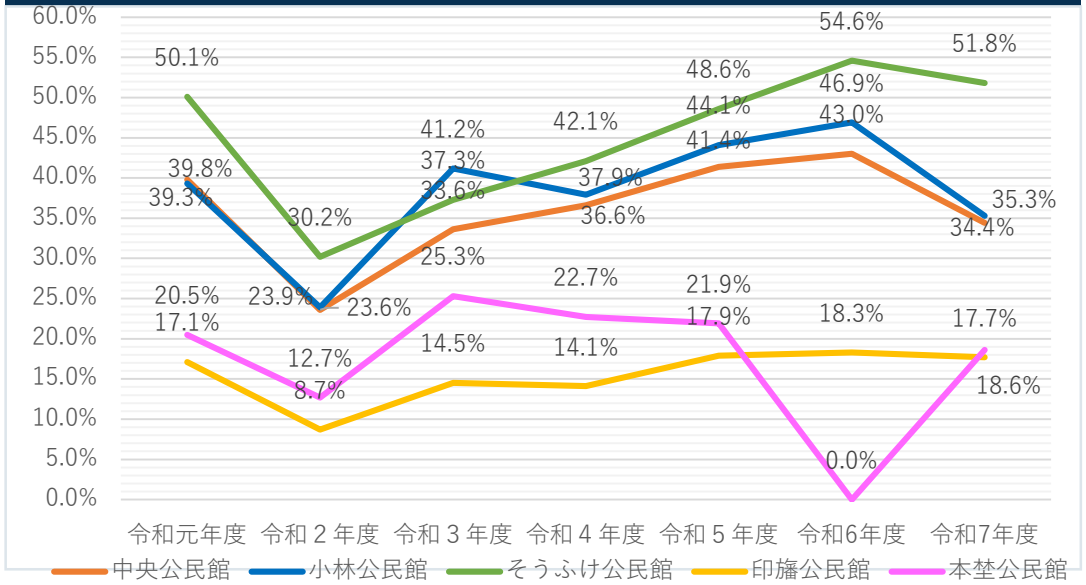
1. 公民館の現状について　①利用・参加の状況

市内５公民館は、貸館と個人学習室の開放を通じて、市民の学習や活動の場を提供しています。

利用者数の推移



利用率の推移



コロナ感染拡大防止のため臨時休館（R2.2.29～R2.6.8）　諸室定員5割制限（R2.6.9～R3.11.2・R4.1.21～R4.3.24）　主催事業停止（R2.2.24～R2.9.30）
そうふけ（ふれあい文化館）大規模修繕工事（R3.5.1～R4.2.28）　小林（コミュニティプラザ）保全改修工事（R4.10.1～R5.9.30）
本埜公民館保全改修工事（R5.10.1～R7.3.31）

貸室は
団体利用が原則
主に市民で構成された団体による利用

個人の貸室利用は
原則、制限
個人の予約による貸室利用は原則認めていない

個人学習室は
自由利用
予約制の貸室ではなく、開館時間内に利用

各館週2日の
夜間開館
通常9時～17時、夜間開館日は21時まで

1. 公民館の現状について　②学びと活動を支える取組

公民館では、主催事業、団体育成、個人学習支援及び貸館を通じ、市民の学習と自主的な活動を支えています。

主催事業

市民ニーズや社会的課題
を捉え、地域の特色
を生かした事業を実施



団体育成

利用団体の自主的な学習、
成果発表、公民館まつり等
を支援



個人学習支援

個人学習室を開放し、
市民の個人学習を支援



貸館

社会教育、生涯学習、会議
及び交流の場を提供



1. 公民館の現状について　③職員・運営体制

各館は地域に身近な拠点として、事業企画、団体支援、貸館、利用相談、施設管理など幅広い業務を担っています。



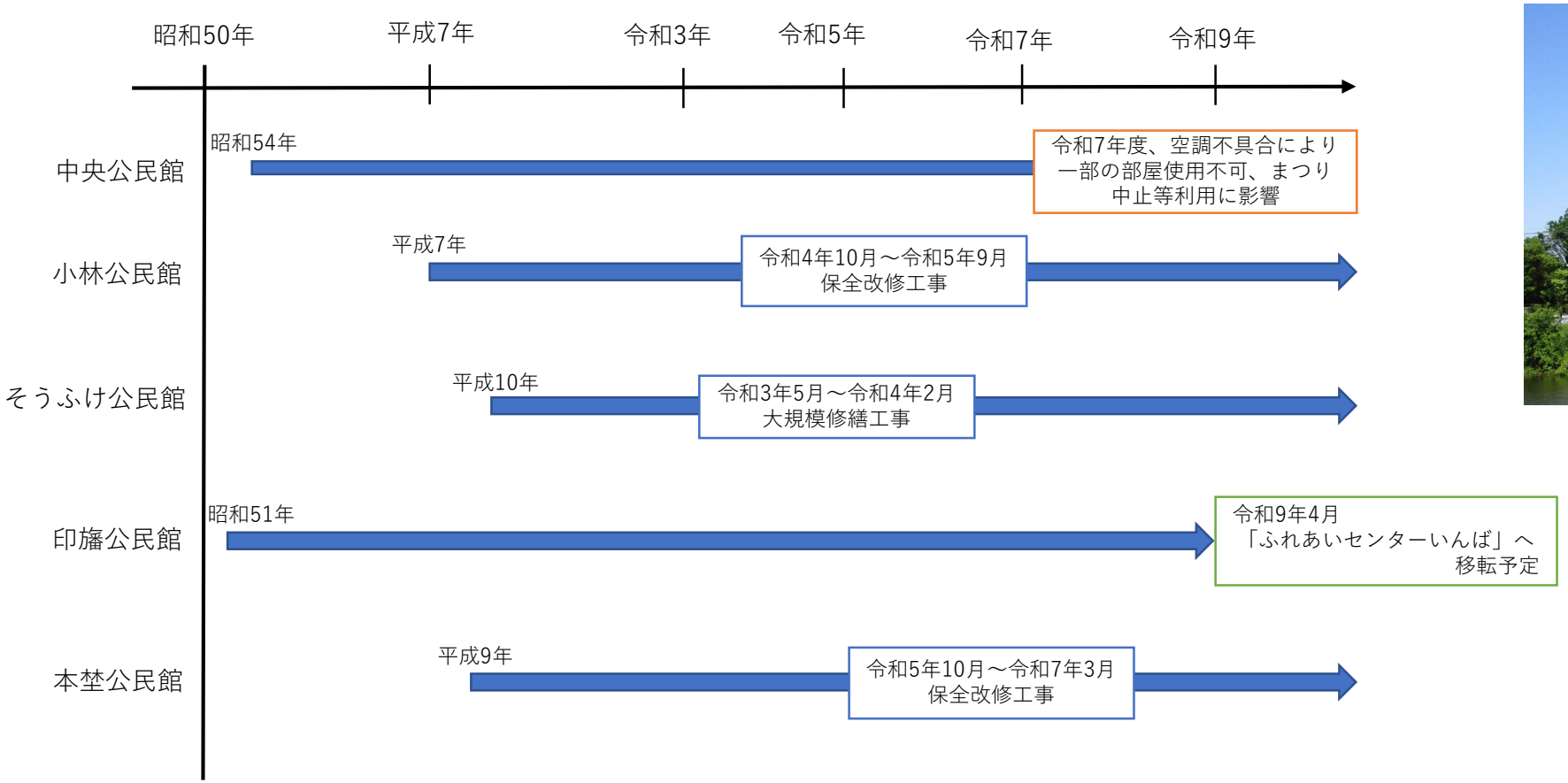
各館には社会教育主事の配置なし

中央	小林	そうふけ	印旛	本埜	5館合計
6人 正職員3 再任用・会計年度等3	6人 正職員2 再任用・会計年度等4	6人 正職員3 再任用・会計年度等3	6人 正職員2 再任用・会計年度等4	4人 正職員3 再任用・会計年度等1	28人 正職員13人 再任用・会計年度等15人

※　休職、育休、兼務等は含まない

1. 公民館の現状について　④中央公民館の施設状況と移転検討

中央公民館は昭和54年の開館以来、大規模修繕の履歴がなく、設備不具合が施設利用に影響しています。







1.現状

① 利用・参加の状況
② 学びと活動を支える取組
③ 職員・運営体制
④ 中央公民館の施設状況と移転検討

2.課題

① 利用・参加
② 学び・つながり
③ 職員・運営体制の強化
④ 中央公民館の施設の在り方

3.今後の方向性

① 利用・参加の入口を広げる
② 学びの継続と、人とのつながりを支える
③ 各館の役割を生かし、５館を横断して支援する
④ 移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す

2. 課題

・これからの公民館の目指す姿とは？

これまで支えてきた地域の学習・活動の基盤を大切にしながら、
誰もが気軽に立ち寄り、人や情報と出会い、
学びや交流から新たな活動が生まれ、地域へ広がる公民館

・公民館が抱える課題

現状	課題
①　利用・参加の状況	①　利用・参加 現行の利用条件と、個人利用や多様な利用ニーズとの間に隔たりがあります。
②　学びと活動を支える取組	②　学び・つながり 現在行っている学習支援と、その後の継続的な学び、人との交流、地域への広がりとのつながりが見えにくい状況です。
③　職員・運営体制	③　職員・運営体制の強化 各館が主催事業など幅広い業務を担う中、専門性や実践ノウハウを共有し、5館共通の課題を横断的に支える運営体制が確立されていません。
④　中央公民館の施設状況と移転検討	④　中央公民館の施設の在り方 老朽化の状況を踏まえ、移転の検討を行い、新たな機能を備えた、だれでも気軽に立ち寄り、滞在して、交流できる中央公民館の在り方を整理する必要があります。

1.現状

① 利用・参加の状況
② 学びと活動を支える取組
③ 職員・運営体制
④ 中央公民館の施設状況と移転検討

2.課題

① 利用・参加
② 学び・つながり
③ 職員・運営体制の強化
④ 中央公民館の施設の在り方

3.今後の方向性

① 利用・参加の入口を広げる
② 学びの継続と、人とのつながりを支える
③ 各館の役割を生かし、５館を横断して支援する
④ 移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す

3. 今後の方向性

公民館の課題を踏まえ、今後の方向性を4点に整理します。

課題	今後の方向性
① 利用・参加	① 利用・参加の入口を広げる。
② 学び・つながり	② 学びの継続と、人とのつながりを支える。
③ 職員・運営体制の強化	③ 各館の役割を生かし、５館を横断して支援する。
④ 中央公民館の 施設の在り方	④ 移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す。

3. 今後の方向性　①利用・参加の入口を広げる

現行の利用条件と多様化する利用ニーズとの隔たりを踏まえ、
個人利用、利用時間、参加料を伴う活動などの取扱いを検討するとともに、
用事がなくても気軽に立ち寄り、人や情報に出会える場づくりを検討します。

場の入口を広げる

・雰囲気、居心地
・用事がなくても立ち寄れる
・気軽に滞在できる
・人や情報に出会える
・次の活動につながる

制度の入口を広げる

・個人利用の取扱い
・市内外の利用条件
・利用時間
・参加料等を伴う活動
・営利的利用の取扱い

3. 今後の方向性　②学びの継続と、人とのつながりを支える

学習機会を提供するだけでなく、
さまざまな世代や分野を超えた出会いと交流が賑わいを生み出し、
学びの継続を支えることで、次の活動や地域への広がりにつながる支援を行います。

立ち寄る・出会う

・サードプレイス
・気軽に立ち寄る
・人や情報に触れる
・個人で過ごす

学ぶ・交流する

・学ぶ
・交流する
・活動する
・相談する

続ける・つながる

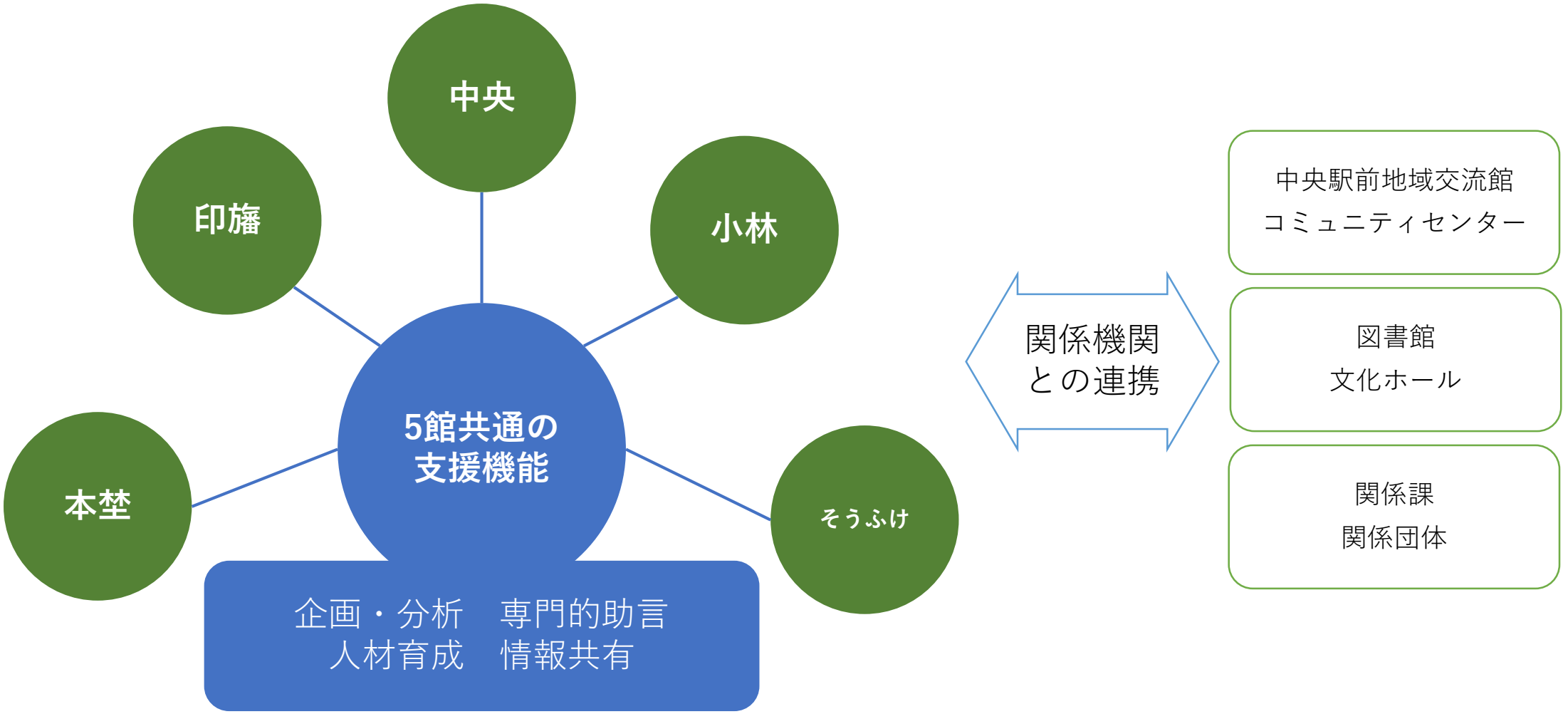
・学びを続ける
・人とつながる
・次の活動へつながる
・地域での実践へと広がる

地域コミュニティの
基盤を耕す

まちの新たな価値

3. 今後の方向性　③各館の役割を生かし、5館を横断して支援する

各館が地域に身近な拠点として役割を担いながら、5館共通の課題について、
館を越えた連携と運営支援を行うとともに、図書館等の関係機関とも連携します。



3. 今後の方向性　④移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す

老朽化が進む中央公民館について、
木下駅前にぎわい広場への移転を含めて施設の在り方を検討し、
市民が日常的に立ち寄り、学び、交流できる新たな公民館を目指します。

中央公民館の老朽化

移転の検討

新たな中央公民館

市民が日常的に立ち寄り、
学び、交流できる拠点

(仮称)木下構想と連携を
図り検討します

木下駅圏のにぎわい創出
及び地域活性化